

第 61 回豊島区図書館企画調整連絡会議 次 第

令和 2 年 1 月 20 日 (月)
午後 2 時～
中央図書館 5 階会議室

- 1 令和元年度地域研究ゼミナール実施予定について (資料 1 チラシ)
 - ・令和元年 12 月 18 日、ゲスト青木滋氏との打ち合わせ
 - ・令和 2 年 1 月 8 日、ゲスト簗榮一郎氏との打ち合わせ
- 2 図書館通信「この本カフェ」20 杯目記念、この本カフェラウンジについて (資料 2)
- 3 令和 2 年度企画案
 - (1) 特別講演会 1 回 (6 月頃実施)
 - テーマ オリンピックと文学者
 - 講 師 鎌倉文学館館長 富岡幸一郎氏 (資料 3)
 - (2) 講 座
 - ①古典文学講座 8 回
 - ②現代文学講座「読んで観る映像・舞台原作の世界」(前期 4 回、後期 4 回)
 - ③書評講座 (改め〇〇〇講座) 4 回
 - ④読書会 2 回
 - (3) 地域研究ゼミナール 2 回
 - テーマ 川ととしま
 - 講 師 都司嘉宣氏、行政職員、図書館司書
 - (4) 図書館 4 階の特集展示について
 - 令和 2 年度特集展示テーマの募集について (資料 4)
 - あうるすぽっとと健康情報コーナーを通年で展示するほか、東京 2020 オリンピック・パラリンピック、区政情報やイベントを中心に庁内から募集し決定する。
 - (5) 図書館通信
 - ①「古代オリエント博物館」(春号より全 4 回) 連載各 1600 字
 - ②「映画のまち としま」(春号より全 4 回) 連載各 800 字
 - ③その他
- 4 その他
 - (1) 第 60 回豊島区図書館企画調整連絡会議、会議録 (資料 5)
 - (2) 次回の日程について

映画のまち“としま”

～成り立ちから現在まで～

全2回

講師 伊藤 暢直 (いとう のぶただ)

豊島区教育部庶務課文化財係長(学芸員)。郷土資料館に勤務していた1994年当時、特別展「テレビがなかったころ落語と映画は娯楽の王様だった」を担当。

豊島区の映画文化はどのように生まれ、成長・変化していったのか

豊島区区内では大正5年に大塚に最初の映画館が建てられたと言われています。区内各地に映画館が建てられ、昭和34年には38館が営業するなど大衆文化の王様として活気にあふれていました。その後、テレビの普及により、映画文化は徐々に衰退していきました。

時代は変わり令和を迎え、豊島区では2019年のグランドシネマサンシャインのオープンをはじめ、今年池袋のハレザタワーに大規模なシネマコンプレックスが誕生します。

豊島区の映画文化の発生、繁栄、衰退、復活と今後の発展について考えるゼミナールを展開します。



1962年 人世坐入口付近(高木進一氏提供)

第1回 「豊島区と映画—黎明と興隆—」

1月25日(土) 午後2時～4時

ゲスト 青木 滋 氏 (あおき しげる)

西武写真印刷株式会社代表取締役社長
目白の白鳥座経営者の御子息

第2回 「映画—その滅びざるもの—」

2月1日(土) 午後2時～4時

ゲスト 旗 栄一郎 氏 (はた えいいちろう)

栄真株式会社代表取締役社長
旗興行の創始者旗栄吉氏の御孫さん

【会 場】 あうるすぽっと 3階 会議室 B (中央図書館と同じ建物)

【受講料】 500円 ※初回にいただきます。

【定 員】 50名 ※定員を超えるお申込みがあった場合は抽選となります。

【担 当】 豊島区立中央図書館企画調整グループ

電話:03-3983-7861 FAX:03-3983-9904

【申 込】 裏面参照

この本カフェ 20 杯目
「読んで語らうこの本カフェ ラウンジ」企画案

1. 日 時：令和 2 年 3 月 7 日（土）18：15～20：00
2. 場 所：中央図書館の 4 階ポートテーブル周辺
3. 目 的：図書館通信の「この本カフェ」20 杯目を記念して、書評を寄稿したメンバー等が本について語り合うワークショップを行う。
中央図書館の閉館後の館内テーブルで、カフェのラウンジをイメージして開催する。
4. 講 師：佐藤壮広氏
5. コーディネーター：作家 島村菜津氏
1963（昭和 38）年、福岡県出身。東京藝術大学美術学部芸術学科卒業。イタリア美術史を専攻し、卒業後イタリアへ留学。十数年にわたって取材したイタリアの食に関する『スローフードな人生！』はスローフード運動の先駆けとなった。著書に『エクソシストとの対話』（21 世紀国際ノンフィクション大賞優秀賞）他。ニッポン東京スローフード協会会員（新潮社著者プロフィールより引用）（佐藤講師の紹介）
6. 内 容：島村さんのお話、「この本カフェ」へのコメントほか
7. メンバー：「この本カフェ」の歴代ライター（マナビト生）、佐藤ゼミ、その他募集による
8. 主 催：図書館課、共催：学習スポーツ課
9. 募 集：2 月 21 日号広報としまを予定
10. 定 員：全員で 30～40 名
11. 配布物：この本カフェの 1 杯目～20 杯目の綴り

特別展

オノノピツク

と

文学者



2019

10.6日 ▶ 12.15日

◆ 入館料 一般 500(350)円 小中学生 200(140)円 ※()は20人以上の団体料金
 ※鎌倉市内在住の65歳以上の方、在住在学の小・中学生と同伴の保護者(2名まで)、
 市内在住在学の高校生および市内の小・中学校と高等学校の教員は無料。
 ※身体障害者手帳などの交付を受けた方と付き添い1名は無料。

◆ 開館時間 9:00-16:30 入館は30分前まで

◆ 休館日 10.7(月) 11.18(月) 12.2(月) 12.9(月)

〈主催〉鎌倉文学館指定管理者 鎌倉市芸術文化振興財団・国際ビルサービス共同事業体

<http://www.kamakurabungaku.com>



特別展

オリンピックと文学者

1896年、第1回の近代オリンピック大会がアテネで開催されました。1900年、パリ大会を目にしたかもしれない夏目漱石、1932年、ロサンゼルス大会に参加し小説を書いた田中英光、1936年、ベルリン大会取材した武者小路実篤。そして、アジアで初めて開催された1964年の東京大会は、多くの文学者が観戦しペンをとりました。

来年、日本で2度目の夏季オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催されることを機に、オリンピックと日本、そして文学者が見てきた時代を、様々な資料で紹介します。

田中英光『オリムボスの果実』
昭和15年(1940) 高山書店
昭和7年のロサンゼルスオリンピックにボート選手として出場したときのことを題材に書いた。



武者小路実篤から娘 新子あてハガキ
昭和11年(1936)8月14日付 調布市武者小路実篤記念館蔵
ベルリンオリンピック取材中、娘に送った。

1936、武者小路実篤のヨーロッパ見聞記

昭和11年、ベルリンオリンピック取材した実篤。彼がヨーロッパで何を見、どう感じたのか、武者小路実篤記念館の伊藤陽子氏がお話します。

日時/11月21日(木) 14:00~15:30
講師/伊藤陽子氏
(調布市武者小路実篤記念館 首席学芸員)
定員/33名(申込制)
会場/鎌倉文学館 1階講座室
締切/11月11日(月) 必着

蹴鞠〜古典にみるスポーツ

日本古来のスポーツともいえる蹴鞠。蹴鞠研究家の村戸弥生氏が、その歴史や蹴鞠を描いた古典作品などについてお話しします。

日時/11月23日(土) 13:00~14:30
講師/村戸弥生氏(蹴鞠研究家)
定員/33名(申込制)
会場/鎌倉文学館 1階講座室
締切/11月12日(火) 必着

小尾美佐が語る 翻訳の魅力

ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』などの翻訳で知られる小尾美佐氏が自身の半生と翻訳の魅力についてお話しします。

日時/11月16日(土) 14:00~15:30
講師/小尾美佐氏(翻訳家)
司会進行/小間祐加氏(講師長女)
定員/20名(申込制)
会場/鎌倉文学館 1階講座室
締切/11月5日(火) 必着

文学者の鎌倉彫

館収蔵の資料から川端康成、有島生馬らが愛用した鎌倉彫の机や盆について、鎌倉彫資料館館長 遠藤英明氏と当館職員が解説します。

共催:鎌倉彫資料館
日時/12月6日(金) 14:00~15:30
講師/遠藤英明氏(鎌倉彫資料館館長)
鎌倉文学館職員
定員/20名(申込制)
会場/鎌倉文学館 1階講座室
締切/11月25日(月) 必着

文学散歩「材木座周辺」

展覧会に関連し光明寺や材木座周辺を訪ね、武者小路実篤、田中英光らゆかりの作家について文学館職員が解説します。

日時/10月30日(水)、31日(木)、11月5日(火)、6日(水) ※各日同一内容
対象/約3kmのコースを歩ける人 ※応募者多数の場合は、市内在住、在勤の方が優先となります。
講師/鎌倉文学館職員 定員/各回25名 参加費/無料(別途寺社の拝観料は各自負担)
締切/10月21日(月) 必着 ※往復ハガキでお申し込みください。



申込方法

ハガキ、メール、またはFAX(◎文学散歩は往復ハガキのみ)にイベント名(◎文学散歩は参加希望日)、住所、氏名、電話番号、参加希望人数(2名まで、同行者氏名も)を記入し鎌倉文学館「各イベント名」係までお送りください。お申し込みは各イベントにつき1件でお願いします。

※応募者多数の場合は抽選、当落はハガキでご連絡します。＊メール・FAXでのお申し込みは締切日の17時までとさせていただきます。＊個人情報等はイベントの詳細な案内のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

ハガキ 〒248-0016 鎌倉市長谷1-5-3 鎌倉文学館「各イベント名」係
メール event2019@kamakura-arts.or.jp FAX 0467-23-5952

角野栄子さんのおはなしの扉

児童作家 角野栄子さんの朗読とおはなしの会。
どんなおはなしの扉がひらくでしょう。おたのしみ。

[日時] 10月26日(土)、11月30日(土) 11:00~12:00
[おはなし] 角野栄子さん
[会場] 鎌倉文学館1階講座室
[対象] 子ども(未就学児から小学生)と同伴の保護者(2名まで)
当日、直達会場にお集まりください。大人の方だけの参加はできません。

鎌倉文学館フェスティバル2019

約200種250株のバラをお楽しみください。期間中コンサートなどのイベントを開催します。

[期間] 10月12日(土)~11月17日(日)
※期間中休館日はありません

庭園の特設カフェ

庭園でオリジナルブレンドのコーヒーを販売します。秋深まりゆく庭園でゆったりとした時間を過ごしてください。

[日時] 10月6日(日)~11月30日(土)の土日祝日 11:00~16:00 <雨天中止>
※10月13日(日)、19日(土)、27日(日)、11月2日(土)、10日(日)、16日(土)を除く

《ギャラリートーク》

毎週土・日曜、祝日 14時から 15分程度
鎌倉ゆかりの文学や建物について職員がお話します。
※イベントによって時間が前後する可能性があります。
詳しくはお問い合わせください。

講座室の貸出

一般の方々の短歌会、俳句会など芸術文化活動の場として定員33名の講座室を貸出しています。利用希望日の2ヶ月前の初日(1日)からお電話で利用申込みができます。休館日・日曜/祝日は除きます。詳しくはお問い合わせください。TEL.0467-23-3911

レファレンス

電話または郵便、FAX、メールにより、文学資料に関する質問にお答えしております。ぜひご利用ください。
(個人のプライバシーに関わる事情の調査、資料の鑑定、価値判断を求めるレファレンスにはお答えできません。あらかじめご了承ください。)

《同時開催》常設展「鎌倉ゆかりの文学」/ミニ特集「没後80年 泉鏡花」・「鎌倉と万葉集」



旧前田侯爵家別邸
国登録有形文化財
〒248-0016 鎌倉市長谷1-5-3
TEL.0467-23-3911

www.kamakurabungaku.com

長谷観音より徒歩10分、鎌倉大仏より徒歩13分



[電車] 江ノ電「由比ヶ浜駅」より徒歩7分 または「長谷駅」より徒歩10分
[バス] JR鎌倉駅 東口
①・⑥乗り場から乗車「海岸通り」下車 徒歩3分
※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

事務連絡

令和元 12 月 20 日

各課長 様

文化商工部図書館課長

大須賀 裕子

令和 2 年度 中央図書館 特集展示テーマの募集について

平素より、図書館課の業務にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

中央図書館では、毎月テーマを決めて関連図書を展示する「特集コーナー」を設けています。本年度も多くの課にご活用いただいております。

来年度の「特集コーナー」について、貴課で PR したいイベントや施策等を下記のとおり募集いたします。年間展示スケジュール作成のため、令和 2 年度の一年間の希望をすべて下記期限までにお申し込みください。是非ご活用くださいますよう、応募をお待ちしております。

記

- 1 展示場所 中央図書館 4 階六角柱特集コーナー（全 4 面のうち 1 面または 2 面）
または 4 階一般特集コーナー（全 1 面）
- 2 特集期間 原則 1 か月間（毎月第 4 金曜日にテーマを入れ替えます。）
- 3 申込期限 令和 2 年 1 月 16 日（木）
- 4 申込方法 (別紙 1) 申込書を Z ドライブの図書館課交換フォルダーへ提出してください。
提出の際は、課名と展示希望月をファイル名【〇〇課〇月期】につけてください。
Z:¥31 年度交換フォルダー¥012011 図書館課¥☆令和 2 年度 中央図書館特集展示申込
※今後の申込状況によっては、年度途中でも申込をお受けできる場合があります。現時点では決まっていない事業については、希望月の最終〆切（別紙 1 参照）までにご相談ください。
- 5 展示決定 1 月下旬までに担当課へ通知します。

- 6 展示方法 PR 用の飾りものを主管課でご用意ください。なお、展示面の一定程度は
図書を展示します。
- 7 その他
- ・詳細については、展示開始日の前々月下旬に各課担当者にご連絡します。
ご参考に(別紙 2) 募集案内、(別紙 3) 特集コーナー寸法をご覧ください。
 - ・展示物が落下、破損等した場合、図書館課で補修いたします。また、多
数の来館者が訪れるため、貴重品や慎重な取り扱いを要するものの展示
はできるだけお控えください。
 - ・六角柱の一面は、年間を通して「健康情報コーナー」としています。健
康情報コーナーの展示については、池袋保健所内で別途調整をお願いし
ています。
 - ・毎月の展示の様子は、図書館ホームページのお知らせ欄「中央図書館
特別展示のお知らせ」からご覧いただけます。
[豊島区立図書館トップページ](#)

【担当】図書館課 企画調整グループ 狩野・小笠原・鶴我（内線 9-4340）